

大和町共催「橋梁点検業務の体験学習」の実施について(10/21)

< コメント >

建設センターでは、令和6年10月21日に大和町と共催し、宮城県黒川高校生7名を対象に橋梁点検業務の体験学習を実施しました。

体験学習では、大和町内の南川ダムの七ツ森湖に架かる七ツ森大橋(鋼箱桁橋 橋長284m)において、黒川高校環境技術科の生徒とセンター職員が点検車に搭乗し、打診棒を使いコンクリートの浮きや桁の塗装の剥がれ・腐食の有無など点検のポイントや作業の仕方を指導しました。

今回の取組みは、橋梁定期点検を受託している大和町からの依頼を受け3年前から行っており、センターとしてもこのような体験を通して、橋梁の維持管理や長寿命化の重要性、更には地域への貢献が実感できる土木関係の仕事に関心を持ってもらい、将来を担う高校生の就職活動の参考としてもらうことを目的としています。

今後も市町村の依頼(要望)に応え、学生等を対象とした体験学習を行っていく予定です。

大和町都市建設課及び黒川高校担当教師の皆様ご協力ありがとうございました。

< 高校生の声 >

- 点検車に乗ったことが無かったのでいい体験でした。橋はたくさんあるので点検を行って数年でも橋が長く持つようになると思います。
- 打診棒による音の違いが空洞や問題を見つけ出す技術には熟練した経験が必要だと感じました。
- 私たちが安全に橋を渡るために点検してくれる人の苦労と大変さが分かりました。
- 初めての体験でしたが、スタッフの方が親切丁寧に対応してくださり多くのことを学びました。

< 写真 >

